（様式－３）

送 電 線 工 事 災 害 報 告 書 （再発防止対策）

関東支部

発生日時	令和５年２月17日（金曜日）　10時35分頃						天　候		晴れ	
災害の程度	死亡－名	負傷１名	職種：組立作業員				年令66歳		経験年数30年	
工事の種類	調査測量	伐　採	運　搬	仮　設	基　礎	組　立	足　場	架　線	撤　去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原　　因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			
設　　備	電圧　275kV	２回線	電線 RLN-ACSR/AC 810㎜^{2} ４導体	地線 LN-AC 300㎜^{2} ２条						

災害の状況

件名：鉄塔組立作業中，ＷＰを掛ける際，ナス環がＤ環に掛かっておらず約1.8mの高さから墜落負傷

275kV送電線の鉄塔組立作業において，主柱材の地上から約1.8mの位置へ昇塔し，ワークポジショニング用ロープ（以下ＷＰ）を鉄塔コの字金具に通し，Ｄ環にナス環を掛けＷＰに体重を掛けたところ，ナス環がＤ環に掛かっておらず地上まで墜落負傷した。

［被災程度］椎体骨折，後頭部裂傷

［装　　備］安全帽，作業着（上下防寒着含む），フルハーネス(ＷＰ含む)，革手袋

原因及び対策

1. 災害発生の主原因

被災者は，安全基本ルールの「安全用具のフックは目と手で確認し，「ナス環（フック）ヨシ」を呼称する。」を怠った。

2. 再発防止対策

(1) 元請会社，協力会社及び作業班長は，安全基本ルールの「安全用具のフックは目と手で確認し，「ナス環（フック）ヨシ」を呼称する」を作業員に励行させ，作業員はこれを実行する。

(2) 目と手で確認がしやすいと考えられる大型Ｄ環（従来品より2cm大きい）について，2023年度から一部試験使用し，掛けやすさや，ステップボルトへの引っ掛かりなどの悪さ加減の有無を確認する。その結果を踏まえ展開方法などについて継続して検討する。

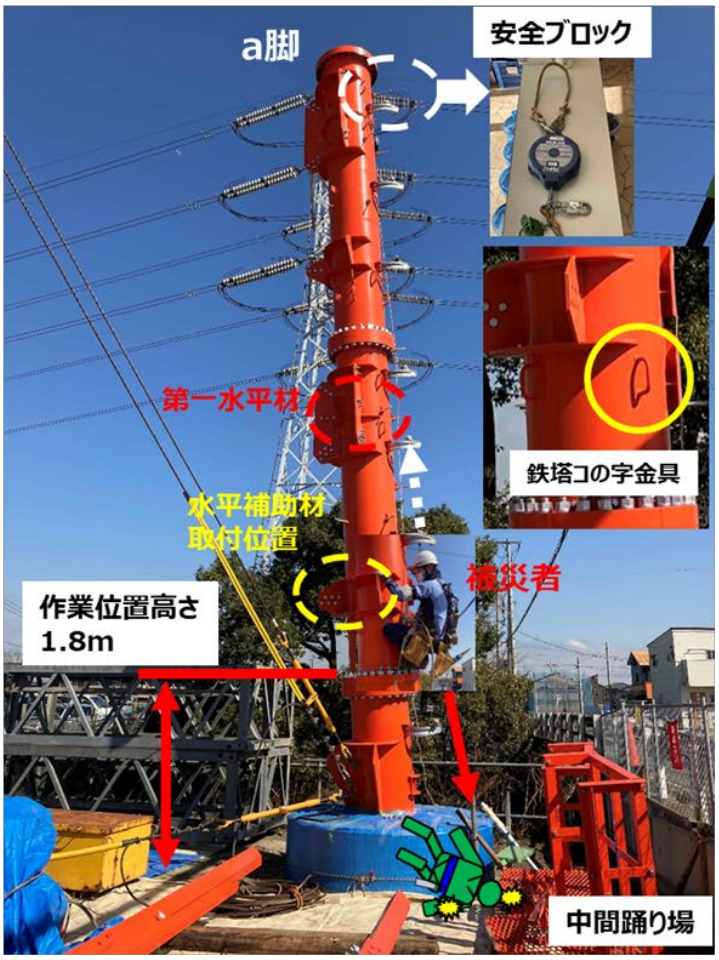
（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし，「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。

2. 災害状況の説明と共に，なるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物，電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－２）

災　害　概　要　図

被災者および現場作業員へ聞き取りによる墜落状況



＜災害発生までの流れ＞

① a脚主柱材の高さ1.8m位置へ昇塔(安全ブロック使用無し)
② 同位置で水平補助材取付位置のボルト抜き作業を実施(ＷＰ使用無し)
③ 第一水平材位置へ移動しようと安全ブロックを装着するため，鉄塔コの字金具にWPを通し，D環にナス環を掛け，WPに体重を掛けたところ，ナス環がD環に掛かっておらず墜落
④ 背中から地面へ墜落し，仮置きしてあった部材に後頭部をぶつけた

＜本事例の受け止め＞

作業高さ２ｍ未満の場合は，法令上安全用具の使用に関する定めはないものの，塔上で不安定な姿勢で作業を行う場合は，墜落・転落に対する安全対策が必要。

（例）昇塔する際は地上から安全用具を使用
　　切り替え時はWPと安全ブロックを併用